

1 [目的]

この調査は本学在学生在が、受講した授業をどのように評価しているかについてのアンケートであり、本学の教育改善の基礎資料とするものである。

2 [方法]

2-1 対象

本調査は「既学習感・達成度」を把握することを主目的として、以下の9項目から成り立っている。

2-2 調査項目

- 設問1 「既学習感・達成度」(学生自身の「学び感」(修得感)の度合い)
- 設問2 「授業構造」(授業の組み立て)
- 設問3 「授業内容」(授業の分かりやすさ)
- 設問4 「授業内容」(授業の中身とシラバスの一致度)
- 設問5 「授業運営・教員」(授業に対する担当教員の取り組み方・姿勢)
- 設問6 「総合評価」(他の学生に推薦できる授業か)
- 設問7 「授業内容」(授業の意味・重要性の理解)
- 設問8 「授業への学生自身の取り組み方」(学生自身の学習努力について)
- 設問9 「総合評価」(授業全般に対する総合評価)

本調査の質問票は、学生が率直に回答できるように無記名とした。また質問文を簡素化したり、回答の度合いを5段階評価のマークシート方式を採用して答え易さに努めたり、授業内での実施を前提にするなど、学生・教員・授業への影響が少ないように最大限の配慮を試みた。

本調査のアンケート回答用紙は資料としてP164に示す。

2-3 実施期間

後期：全通年科目と後期開講の全科目。

講義・演習、実技とも2008年12月1日(月)～12月13日(土)。